

米子市立山陰歴史館

歴史館だより

2023.8.2 vo.5

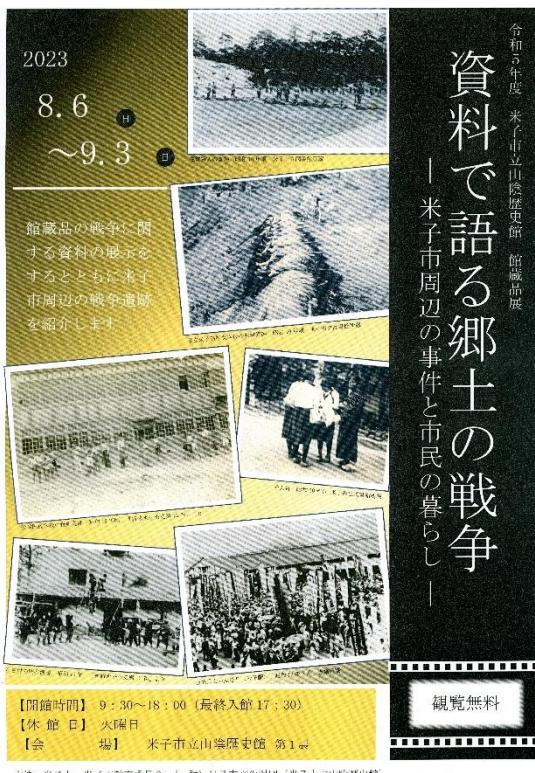


歴史館のマスコットキャラクター
れきくん シーちゃん かんくん

館蔵品展「資料で語る郷土の戦争」

—米子市周辺の事件と市民の暮らし—

館蔵品等の戦争に関する資料の展示と米子市周辺の戦争遺跡を紹介します。



会期 2023年 8月6日(日)～ 9月3日(土)

開館時間 9:30～18:00(17:30までに入館)

期間中の休館日 毎週火曜日

観覧料 無料

連携展示会報告

第16回史跡鳥取藩主池田家墓所写真コンクール作品展

令和5年6月24日（土）～7月23日（日）

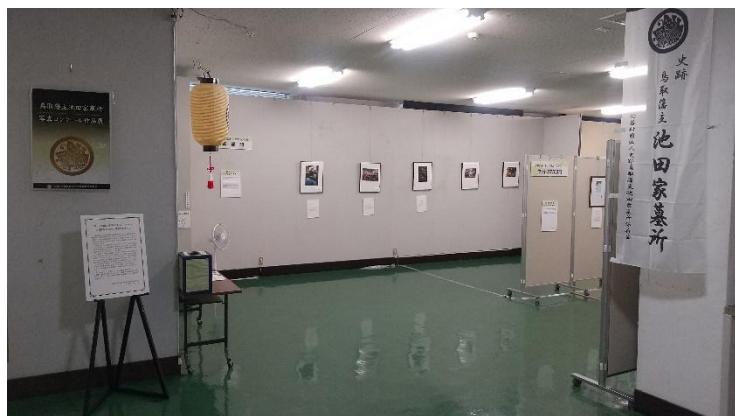
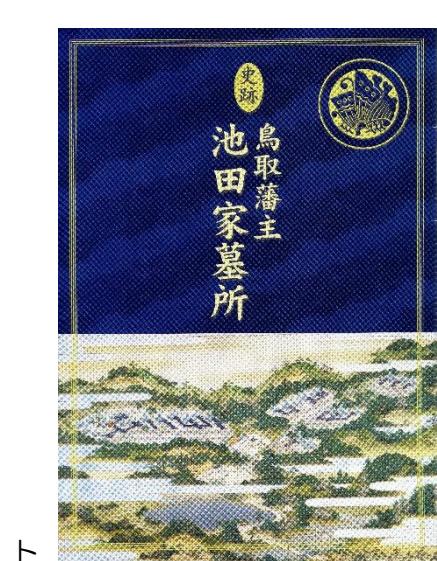
山陰歴史館では、毎年、関係施設や機関と連携して色々な催しを行っております。6月24日（土）から7月23日（日）にかけて、第1展示室で（公財）史跡鳥取藩主池田家墓所保存会と共に「16回史跡鳥取藩主池田家墓所写真コンクール作品展」を開催しました。

「鳥取藩主池田家墓所」は、元禄六年（1693）に因幡・法規32万石の初代藩主池田光仲が亡くなり、現在の鳥取市国府町奥谷に埋葬されたことに始まります。

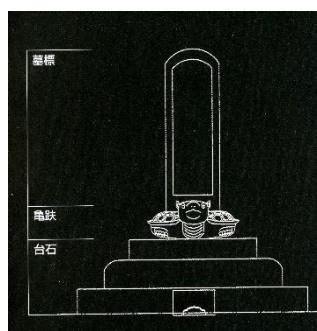
墓所には、初代以後の歴代藩主11代とその夫人、分家の当主などの78基の墓碑と、260基を超える灯籠が立ち並んでいます。池田家墓所の特色は亀の形をした石台に円筒扁平な墓碑を建てた「亀趺円頭」と呼ばれる形式の大きなものです。

この墓所は、江戸時代の大名の墓制を良くとどめていることから、昭和56年（1981）に国の史跡に指定されました。

この写真コンクールは史跡鳥取藩主池田家墓所を知っていただくために、平成18年（2006）から開催され、県内外から多数の応募があり、その中の入賞作品を展示したものです。
（文章 史跡鳥取藩主池田家墓所リーフリットの解説から引用改変）



展示会場風景



史跡鳥取藩主池田家墓所リーフリット・亀趺円頭墓碑形態・亀趺写真

展示・収蔵品紹介

2階 展示室 「列車ヘッドマーク」

米子駅の改築に伴いJR西日本米子支社から、同社が所有していた鉄道資料を数多く寄贈を受けました。そのうち列車のヘッドマークは60点もあります。

2階展示室では、鉄道関係の写真や資料などとともに、数点のヘッドマークを常設展示しております。

列車の愛称がデザインされたヘッドマークは、鉄道ファンのみならず乗車した人の記憶と共に多くの人に親しまれています。



2階展示室「米子市の人伝II」—皆生ゆかりの人たち—

皆生の歴史や皆生温泉の開発に携わった人たちと、皆生にある彫刻に関する人等を紹介しています。

皆生の開発の祖は、戦国時代に海浜の荒れ地に尼子氏浪人の八幡新兵衛が帰農して始められたと伝えられています。皆生温泉の始まりは、明治33年(1900)に海岸の浅瀬に温泉がわきだしているのを漁師が発見したのが始まりです。

本格的な温泉開発は、大正10年(1921)に有本松太郎が皆生温泉土地株式会社を設立して始まりました。そして、自動車や電車、旅館などのインフラも整備され、急速に観光地として賑わいました。温泉開発から百余年後の今日では、年間80万人の人たちが訪れる保養地となっています。また皆生には、この地にちなんだ記念碑や米子刻シンポジウム彫刻も設置され町を彩っています。



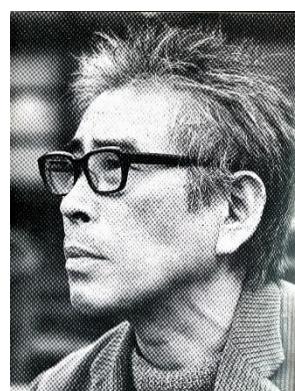
有本松太郎



坂内義雄



遠藤光徳



辻晋堂

会期

令和5年8月2日(水)～10月16日(月)

令和 5 年度の主な展示事業

事業名	内容・入館料・入館者数	開催日又は実施期間
常設展 米子城展、昔の暮らし展、鉄道のまち米子の歴史展、人物展ほか	国史跡米子城跡、鉄道資料、民俗資料、郷土ゆかりの人物などの歴史をとおして、人々の暮らしの様子を紹介する。 入館料無料	通年・隨時展示替
企画展 「郷土の看板展」	郷土所縁の看板とその関連資料を展示する。看板にスポットを当て、商都米子を形成した商家や米子周辺にあった公共施設などについて紹介する。 入館料 300 円 (終了しました)	4月 23 日（日）～ 6月 11 日（日）
共催展 「池田家墓所写真コンクール展」	池田家墓所の写真コンクール入賞作品を展示 (共催：公財史跡鳥取藩主池田家墓所保存会) 入館料無料 (終了しました)	6月 24 日(土)～ 7月 23 日(日)
館蔵品展 「資料で語る郷土の戦争」	館蔵品等の中から戦争関係の資料を紹介する。 入館料無料	8月 6 日(日)～ 9月 3 日(日)
企画展 山陰線全通 90 年記念 「レツツゴー山陰本線 —日本で一番長い在来線—」	昭和 8 年(1933)に山陰本線が、京都～幡生間全線開通して 90 年を迎えることを記念し、山陰本線沿線の駅の歴史や観光地を、写真やパンフレット、駅弁包み紙など関連資料を展示し紹介。 入館料 300 円	9月 16 日(土)～ 11月 5 日 (日)
企画展 「山陰歴史館復活開館 70 年記念展(仮称)」	昭和 28 年(1953)に山陰歴史館が旧小原家長屋門で戦後の復活開館を迎え 70 年になる。同年の湊山球場開場などの他、近年の湊山周辺の変遷、ならびに米子城跡について紹介。 入館料 300 円	11月 19 日(日)～ 令和 6 年 1 月 21 日 (日)
館蔵品展テーマ(未定)	館蔵品の中から、テーマを決めてその歴史を紹介する。 入館料無料	令和 6 年 2 月 4 日(日) ～ 3 月 31 日(日)

米子市立山陰歴史館



〒683-0822 鳥取県米子市中町 20 番地
電話/0859-22-7161 fax/ 0859-22-7160

開館時間 9:30～18:00 (17:30までに入館)

休館日：毎週火曜日 祝日の翌日 12月 29 日～1月 3 日

<http://yonagobunka.net/rekishi/>

E-mail:saninrekishikan@dear.net.jp [編集：小原]